

令和3年度決算から見る

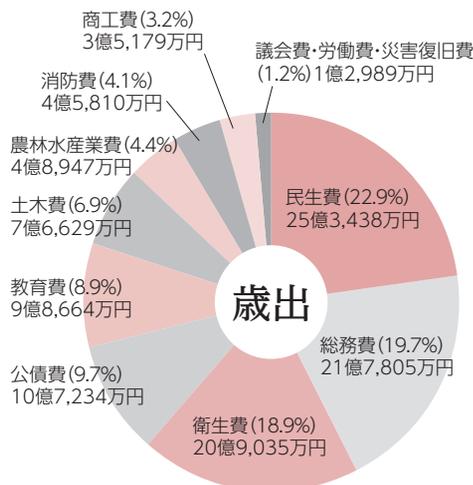
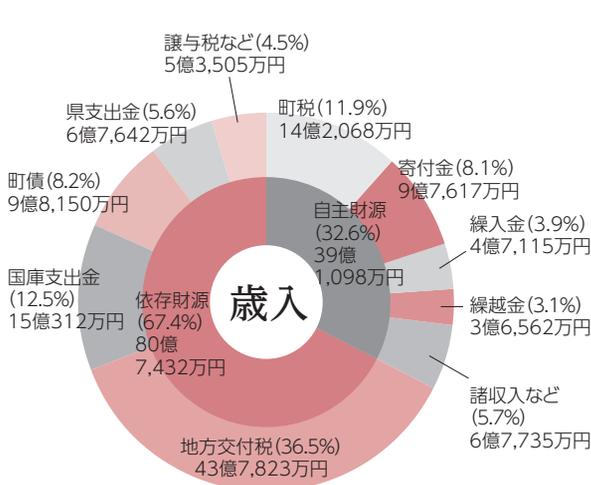
まちの家計簿



①令和3年度 普通会計の決算の状況

町の決算状況は、歳入119億8,530万円－歳出110億5,728万円＝9億2,802万円でした。
 ただし、9億2,802万円の中には来年度使う予定のお金*が7,968万円あることから
 実際の収支は、9億2,802万円－7,968万円＝8億4,834万円で、黒字決算となりました。

※繰越明許費等繰越財源



※端数処理の関係で合計が合わない場合があります。

行財政改革

ふるさと納税の推進
 公共施設の解体撤去
 職員研修など人材育成の強化
 社会体育施設等のあり方検討会の実施

9億6,979万円
 1,433万円
 1,322万円
 10万円

教育・文化

小豆島中学校体育館空調設備整備
 瀬戸内国際芸術祭の推進
 小豆島こどもセンター空調設備整備
 池田小学校の長寿命化対策
 福武ハウス進入路整備

8,639万円
 2,847万円
 1,740万円
 1,287万円
 945万円

産 業

竹生漁港の防波堤整備
 新型コロナウイルス
 感染症関連の事業者支援
 紅雲亭公衆トイレ整備
 小豆島ブランド確立の推進

1億9,523万円
 6,690万円
 4,061万円
 1,800万円

定住・交流

一般廃棄物最終処分場整備
 雨水公共下水道整備
 小豆島オリブバスの運営支援
 地域おこし協力隊の受入
 地方創生テレワーク拠点施設整備

7億6,366万円
 9,741万円
 4,358万円
 4,360万円
 3,479万円

健康・福祉

小豆島中央病院の運営支援
 新型コロナウイルス
 感染症関連の子育て世帯支援
 新型コロナウイルスワクチン接種
 地域密着型サービス等整備事業の推進
 地域包括ケアシステムの推進

2億3,157万円
 1億8,057万円
 1億2,162万円
 1億196万円
 3,567万円

②令和3年度に実施した主な事業

③ 町民の皆さん一人あたりのお金の使い道

普通会計の決算額から算出すると、町民一人に対し**82万円**のサービスを行っています。
※令和4年1月1日の人口により算出



④ 町の決算を家計簿に例えると

町の財政と一般家庭の家計では内容が違うので単純に比較はできませんが、イメージしやすいように、普通会計の歳入を年収480万円（月収40万円）に置き換えた場合の家計簿を作成しました。

区分	決算上の区分	金額	区分	決算上の区分	金額
給料	町税	4.8万円	食費	人件費	5.8万円
パート収入	使用料、手数料など	1.3万円	医療費・保育料	扶助費	4.0万円
親の援助	地方交付税、国県支出金など	23.6万円	ローンの返済	公債費	3.6万円
貯金の取崩	繰入金	1.6万円	光熱水費・通信費など	物件費、補助費等の一部	4.9万円
前月の残金	繰越金	1.2万円	保険料・自治会費など	補助費等の一部	5.0万円
友人の援助	寄付金	3.3万円	友人の援助に対するお礼	補助費等の一部	1.0万円
雑収入	諸収入	0.9万円	親族への援助	貸付金、補助費等の一部	0.8万円
ローンの借入	町債	3.3万円	車の修理代など	維持補修費	0.3万円
			貯金	積立金	2.2万円
			子どもへの仕送り	繰出金	2.7万円
			車の購入など	普通建設事業費	6.7万円
合計		40.0万円	合計		37.0万円

残高（翌月への繰越）3.0万円

資産等の状況は…

預貯金残高（基金残高） 286.8万円 ローン残高（町債残高） 418.8万円*

※ローン残高に対し、親の援助（地方交付税による補填）が276.0万円あるため、実質的なローン残高は142.8万円となり、預貯金残高を下回っています。